



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2026/05/27

研究課題名	切除不能肝細胞癌における一次治療としてのアテゾリズマブ/ベバシズマブとデュルバルマブ/トレメリムマブのリアルワールド比較研究
研究の対象	2022年3月1日から2025年12月31日までに当院で組織学または画像診断により肝細胞癌と診断され、一次治療としてアテゾリズマブ/ベバシズマブあるいはデュルバルマブ/トレメリムマブを投与された患者さん
研究目的・方法	本研究は、切除不能肝細胞癌に対する一次治療としてアテゾリズマブ/ベバシズマブあるいはデュルバルマブ/トレメリムマブを投与された患者を対象とした、多機関共同後向きコホート研究（国際共同研究）です。 免疫チェックポイント阻害薬を用いたがん免疫療法は切除不能進行肝細胞癌の一次治療として推奨されておりますが、実臨床において両レジメンの有効性を直接比較した研究は限定的です。本研究では、両治療レジメンの有効性及び安全性を比較し、日常診療における最適な治療選択に資する知見を得ることを目的としています。 当院は「既存試料・情報の提供のみを行う機関」として参加し、診療録情報を匿名化した上で研究代表機関へ提供します。新たな介入・追加検査は行いません。 研究期間：許可日～2026年12月31日
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、身長・体重、治療内容、血液検査結果、腫瘍マーカー、画像所見、肝機能、病理所見、副作用等
外部への試料・情報の提供	収集されたデータは、各施設で匿名化した上で京都大学医学部附属病院に集約され、日本側データとして取りまとめを行います。その後、主たる研究機関である韓国 Incheon St. Mary's Hospital へ提供され、統合解析を行います。 データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、対応表は各施設の研究責任者が厳重に保管・管理します。
研究組織	【研究代表機関】 Incheon St. Mary's Hospital Associate Professor Soon-Kyu Lee 【日本国内での主たる研究機関】 京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 助教 楊 知明 【既存試料・情報の提供のみを行う施設】 尼崎総合医療センター 部長 梅田 誠 大阪赤十字病院 主任部長 丸澤 宏之 京都医療センター 診療科長 上尾 太郎 京都桂病院 部長 池田 敦之 倉敷中央病院 医長 上野 真行 滋賀県立総合病院 科長 栗山 勝利



	日赤和歌山医療センター 主任部長 上野山 義人 明和病院 内科系診療部長 大崎 往夫 天理よろづ相談所病院 部長 二階堂 光洋 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 主任部長 八隅 秀二郎 神戸朝日病院 院長 金 秀基 神戸市立医療センター中央市民病院 部長 神田 直樹
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 消化器内科 電話：06-6312-1221 FAX：06-6312-8867 担当者： 消化器内科 副部長 中野 重治 研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 消化器内科 主任部長 八隅 秀二郎 研究代表者： Incheon St. Mary's Hospital Associate Professor Soon-Kyu Lee